

ひびき

教育目標：「なかよく かしこく たくましく」

三本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 R2年 1月31日

【おわりよければ、すべてよし】 校長 宮地 敏彦

1月8日（水）、冬休みの楽しい思い出と新学期の決意を抱いて、児童たちは元気に登校してくれました。冬休み中の子どもたちの健康と安全、そして笑顔が守られたことは、ひとえにご家族や地域の方々のおかげであると、職員一同心より感謝しています。

冬休み明けの全校集会では、ステージに上がった私をきらきらと輝く瞳で見つめる児童の姿に、新年の意欲を強く感じました。私は校長として、“おわりよければ全てよし！”ということわざを提示して、下記のように話をしました。



〈なかよし活動をリードする6年生〉

これから卒業式（修了式）までは小学校（学年）の終わりの時期です。一年間、学習や仲間づくりで頑張ってきた成果をお互いで確認し、喜び合う時です。そして、終わりをよきものとするので全てがよくなります。

たとえば、持久走で最初に頑張って速く走り、終わり頃に歩くほどのスピードで走っていたら、『始めはいい走りだったけど、最後は全然だめだった…。』『最初だけだった。』という印象が残ります。逆に最初は目立たなかったけれど、ラストスパートで歯を食いしばってスピードを上げると、『最後はよく頑張った!』と自他ともに評価しないでしょうか。人の思いとはそのようなものです。学習や係活動も同じです。また、学級や学年という集団においても、同様なイメージを人はもつ傾向があります。『4月はやる気満々だったけど3月には…。』と残念な思いを抱くより、『4月はどうなることかと思ったけど、年あけてからは頑張ってくれ、笑顔の多い仲間になったね。』とまわりの人や、何より自分自身が感じられるために、この締めくくりの期間に全力を尽くしましょう。よい終りは次の新しい、よいスタートにつながります。

【リーダーシップとは…】

卒業式までの登校日数が残すところ35日となりました。この時期は児童会において6年生から5年生へリーダーシップを引き継ぐ時期でもあります。そこで“リーダーシップ”について考えてみたいと思います。

一般的に『あの子はリーダーシップがある。』と言う場合、てきぱきと先頭に立って指示を出したりする姿をイメージします。しかし、そのような牽引役としてのリーダーシップは、あくまでもリーダーシップの種類の一つであり、表れ方の一つだと言えます。本来“リーダーシップ”とは「グループ全員によって分かち合い、担われる働き」のことです。つまり、集団（学級・学校・通学班・スポーツチーム等）をつくり、それを良い状態で維持していこうとする働きや、グループの目標達成に貢献しようとする行動は、すべてリーダーシップの機能だと言えます。したがって、メンバー一人一人がその時その時にグループに必要な働きをした場合、その人はその時点でリーダーシップを発揮しているのです。ただ多くの場合、自他ともにリーダーシップの種類について知らないがゆえに、その力を発揮していてもそのよさを認識できていません。

(例)・「ドンマイ」、「できるよ」、「大丈夫」等と**励ます**。

- ・活動しやすいように**場を整えたり、道具を準備したりする**。
- ・笑顔でうなずいたり、拍手したりして**雰囲気をやかにする**。
- ・自分の誤りを素直に認めたりして**ゆずる**。 …などなど



〈“よさ”がリーダーシップ〉

場面に応じて児童一人一人がその子のよさ（強み）を用いて輝けるように、今年度の修了の時まで職員一丸となって全力で支援していきます。